

第五〇回記念企画展

人ノ性、酒ヲ嗜ム 神を招き 人を結ぶ

前期…「國酒の寿ぎ」／後期…「桜花の寿ぎ」
 会期…（前期）平成二六年二月二〇日（土）
 平成二七年二月二五日（日）
 （後期）平成二七年二月七日（土）
 三月一五日（日）

魏志倭人伝には「人ノ性、酒ヲ嗜ム」とあり
 ます。弥生時代には人々の間で酒が飲まれてお
 り、中国では倭人は生来酒を好むと認識されてお
 いました。古代より酒宴は、ともに酒を飲むこ
 とによって人と人を結ぶ役割を担ってきました
 た。史料からは酒宴が盛大に行われていること
 が知られ、それが禁令の対象となることも度々
 でした。

本展では、古代から中世にかけての酒宴や酒
 造の歴史をたどりながら、前期は中世の糟坊酒
 を中心に、酒が社会に果たしてきた役割を考古
 資料・歴史資料などを通じて概観します。後期
 は、そこに酒宴と密接な関係のある花見につ
 いての近世絵画等に加え、酒文化の広がりを紹介
 します。

展示作品（○…重要文化財）

「はそう」を掛け持つ人物埴輪

（淡松市博物館蔵）
 常滑甕（平安京左京六条三坊五町跡）
 （京都市考古資料館蔵）

酒飯論絵巻 一卷（紙本着色）（茶室資料館蔵）
 ◎古瀬戸黄釉瓶子 二点一対のうち一点
 （長浜白山神社蔵）

指樽（文禄二年銘）
 （吉地自治会蔵、野洲市歴史民俗博物館寄託）



「はそう」を掛け持つ人物埴輪
 （淡松市博物館蔵）



後期展示 数中八仙図 月巻巻
 （滋賀県立琵琶湖文化館蔵）



前期展示 豊臣秀吉朱印状（金剛寺蔵）



指樽（吉地自治会蔵、野洲市歴史民俗博物館寄託）

関連行事

第五〇回記念企画展展物館講座

一月一八日（日）「酒の考古学」

講師…玉田芳英氏、奈良国立文化財研究所

三月八日（日）「花と酒」

講師…大沼芳幸

公益財団法人滋賀県文化財保護協会

公益財団法人 滋賀県文化財保護協会 調査整理課通信

金森西遺跡出土の有孔円板

有孔円板とは鏡を模造したものと推測される石製
 品で、おもに祭祀に使用されたと考えられています。
 形は扁平な円板状で、中央に一孔あるいは二孔の穴
 をあけているものが多く、衣服のボタンに形が似て
 います。滑石という軟らかい石材を加工して作られ
 ることが多く、古墳時代に鏡んに作られる用いら
 れました。特に滋賀県では、野洲川付近の守山市から草
 津市を中心とする地域で限定的に生産されています。

平成二三年度から二五年度にかけて行った守山市
 の金森西遺跡の発掘調査では、三〇点あまりの有孔
 円板が出土しました。金森西遺跡の有孔円板は、丁
 壺に磨りあげてきれいな円形に仕上げられています。規
 格があったと考えられ、大きさは直径三㎝程度の大
 型品、二㎝程度の中型品、一・五㎝程度の小型品に
 分けることができます。また中央に一孔のタイプと
 二孔をあけるタイプがあり、穴の数と大きさによっ
 て六種類に分類できます。

金森西遺跡では、古墳時代前期に数センチ単位で点々
 と集落が営まれ、その
 間を流れる小さな河川
 の中から大量の土器類
 とともに有孔円板が出
 土しています。規格品
 であることから何らか
 の決まり事に基づいて
 「水辺の祭祀」が執り
 行われていたのではし
 ょうか。



金森西遺跡出土 有孔円板

赤野井湾遺跡出土 土製人形

弥生時代後期～古墳時代中期(三～五世紀)

高九・〇cm

守山市の湖畔に所在する赤野井湾遺跡では、縄文時代早期から中世にいたる幅広い時代の遺物が出土しました。中でも弥生時代後期～古墳時代中期にかけての土器や木製品は大量に出土していて、本紙でもこれまでにいくつかご紹介しています。

今回ご紹介する土製人形も、弥生時代後期～古墳時代中期の遺物を含む遺物包含層から出土しました。高さは九cm、粘土の塊から簡単につまみ出して作成したような姿です。頭部と手足があり、自立することから、人体造形を指向していることはわかります。しかし、性別や役割を示すような表現が見られないため、何を意図して製作されたものなのかはまったく不明です。類似としては、静岡県静岡市の明ヶ島五号墳、福岡県志摩町の御床松原遺跡などがあり、いずれも古墳時代のものと考えられています。

こういった人体を指向した造形物は、縄文時代には土偶としてたくさん作られていました。それらは、まるで精密な表現したかのような、不思議な造形や表現を持っています。ところが弥生時代になると、そういった造形物はほぼ消

滅し、土製容器や木偶といった遺物が散発的に見られる程度になってしまいました。続く古墳時代中期には、人物埴輪として再び人体を表現する造形物が現れてきますが、縄文時代の土偶とは異なり、写実的な表現を持つものでした。そのような時期に現れるこの土製人形は、土製模造品として報告されています。土製模造品とは古墳の副葬品にも見られる、鏡や玉などを粘土で模して作ったものです。前述の明ヶ島五号墳や御床松原遺跡での出土例では一〇点以上がまとまって出土しており、簡素な作りながらも多く、土製人形もその一種と捉えられています。

この赤野井湾遺跡出土例も同様なものと考えられますが、単独で出土していること、付近に古墳が見られないことから、意図や意味を持って作成されたものではなく、手慰みに作った、あるいは遊具、という可能性も考えられます。土偶・木偶といった抽象的造形物が消滅した後には登場した、不思議な造形物です。



赤野井湾遺跡出土 土製人形

第一常設展示室

テーマ展 お茶の文化史

～戦国時代の考古資料を中心に～

会期：一月六日(火)～三月一日(水)

テーマ展講座

二月一日(日)

「お茶の文化史」

講師 大橋暢子(当塾)

テーマ展 石の文化史

会期：三月二日(木)～四月三日(水)

第二常設展示室

テーマ展 鏝に恋して

会期：一月二日(水)～三月一八日(水)

テーマ展講座

二月一日(水・祝)

「中世琵琶湖のクイとフナ」

―首都京都での価値付けをめぐる―

講師 梅本直穂氏(滋賀県立琵琶湖博物館)

テーマ展 近江の古城園

会期：三月一日(木)～四月一〇日(金)

博物館連続講座のご案内

近江の歴史を多角的に検証していく連続講座

シリーズ。今年度は「戦い」と「生産」という

新たなテーマで開催し、「好評をいただいています。

詳しい内容やスケジュールは、当館ホー

ムページや本紙巻末の「博物館の主な催し」を

ご覧ください。

博物館の主な催し

			企 展 示	義 堂	第1常設 展示室	第2常設 展示室				
1 月	4日(日)	琵琶湖文化探訪「初級コース」 案内：当館学芸員 【要予約・有料】 (催し物案内では5日(月)開催となっておりますが、変更になりました)	「一人ノ性、透ラ職ム、神を招き、人を結ぶ」 前期「蓮蓬の考査」	12月29日(土)～1月25日(日) 第50回全常展	12月29日(土)～1月25日(日) 第50回全常展	12月11日(木)～13日の日(火) 琵琶湖展				
	～5日(月)	冬季休館								
	10日(土)	連続講座(戦い7)「近江の戦争遺跡を考える」 13時30分～【有料】 講師：中井均氏(滋賀県立大学教授)								
	11日(日)	体験学習「忍者になってみよう！」【要予約・有料】								
	17日(土)	連続講座(生産7)「近江の協種陶器生産」 13時30分～【有料】 講師：平井美典(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)								
	18日(日)	冬季企画展講座1「漆の考古学」 13時30分～【有料】 講師：玉田芳美氏(奈良国立文化財研究所)								
24日(土)	連続講座(戦い8)「泰平の世の藤根城」 13時30分～【有料】 講師：青木俊郎氏(彦根城博物館)	「一人ノ性、透ラ職ム、神を招き、人を結ぶ」 後期「花の考査」	1月6日(火)～13月11日(水) テーマ展「お茶の文化史」	1月6日(火)～13月11日(水) テーマ展「お茶の文化史」	1月21日(水)～13月18日(水) テーマ展「餅に恋して」					
26日(月)	メンテナンス休館(～2月6日(金))									
2 月	11日(水・祝)					テーマ展講座 「中世琵琶湖のコイとフナー首都京都での価値付けをめぐって」 13時30分～【有料】 講師：橋本道範氏(滋賀県立琵琶湖博物館)	「一人ノ性、透ラ職ム、神を招き、人を結ぶ」 第50回常設展・琵琶湖文化財部制作作品特別展列	2月7日(土)～3月15日(日)	2月7日(土)～3月15日(日)	1月21日(水)～13月18日(水) テーマ展「餅に恋して」
	14日(土)					連続講座(生産8)「真野庵寺と瓦」 13時30分～【有料】 講師：福田政氏(大津市教育委員会)				
	15日(日)					連続講座(戦い9)「湖南・六角の山城」 13時30分～【有料】 講師：福永清治氏(野洲市教育委員会)				
	22日(日)					体験学習「忍者になってみよう！」【要予約・有料】				
	28日(土)	連続講座(生産9)「木製品の生産」 13時30分～【有料】 講師：村上由美子氏(総合地球環境学研究所)								
3 月	1日(日)	城郭博物館三館連携講座 「近世城下町の誕生と形成ー安土・長浜・彦根ー」 会場：長浜文化芸術会館 13時30分～【無料】	「一人ノ性、透ラ職ム、神を招き、人を結ぶ」 後期「花の考査」	3月12日(水)～4月22日(水) テーマ展「石の文化史」	3月12日(水)～4月22日(水) テーマ展「石の文化史」	3月19日(水)～4月10日(金) テーマ展「近江の古瓦」				
	7日(土)	連続講座(戦い10)「水口岡山城」 13時30分～【有料】 講師：小谷徳彦氏(甲賀市教育委員会)								
	8日(日)	冬季企画展講座2「花と酒」 13時30分～【有料】 講師：大沼芳幸(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)								
	14日(土)	連続講座(生産10)「金瀬路の生産」 13時30分～【有料】 講師：大沼和人氏(滋賀県教育委員会)								
	21日(土・祝)	連続講座(戦い11)「小谷城」 13時30分～【有料】 講師：北村圭弘氏(滋賀県教育委員会)								
	28日(土)	連続講座(生産11)「石器の生産」 13時30分～【有料】 講師：中村健二(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)								

※講座の会場はすべて当館セミナールームです。※事項により行事内容や日時が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

おおてみち 第90号

平成27年(2015年)1月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県近江八幡町安土町下豊浦6678
TEL:0748-46-2424 FAX:0748-46-6140
E-mail: gakuji@azuchi-museum.or.jp URL: http://www.azuchi-museum.or.jp